

事業の基礎情報

実施主体	高梁市（健幸長寿課）
事業実施地域	岡山県高梁市
共創の類型	官民共創・交通事業者間共創・他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉・子ども・子育て・教育・スポーツ・文化・商業・農業・宅配・物流 エネルギー・環境・地域・移住・金融・保険・観光・まちづくり・その他
共創パートナー	高梁市、高梁市社会福祉協議会（シルバー人材センター）、市内の介護保険事業所、 ダイハツ工業株式会社
運行形態	共同送迎
運行主体	高梁市社会福祉協議会（シルバー人材センター）

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

○当市では少子高齢化が進み、市内の介護事業所では送迎員の確保が困難となっており、介護従事者が送迎を行うなど大きな負担となっている。  
○利用者の減少・ドライバーの不足から、地域の交通事業者による路線バス等の本数も減少し、移動手段を持たない独居高齢者等の通院・買物等の手段が課題となっている。

地域公共交通計画への位置づけ  
(位置づけ予定を含む)

有(予定)  
R7.3協議会に報告予定

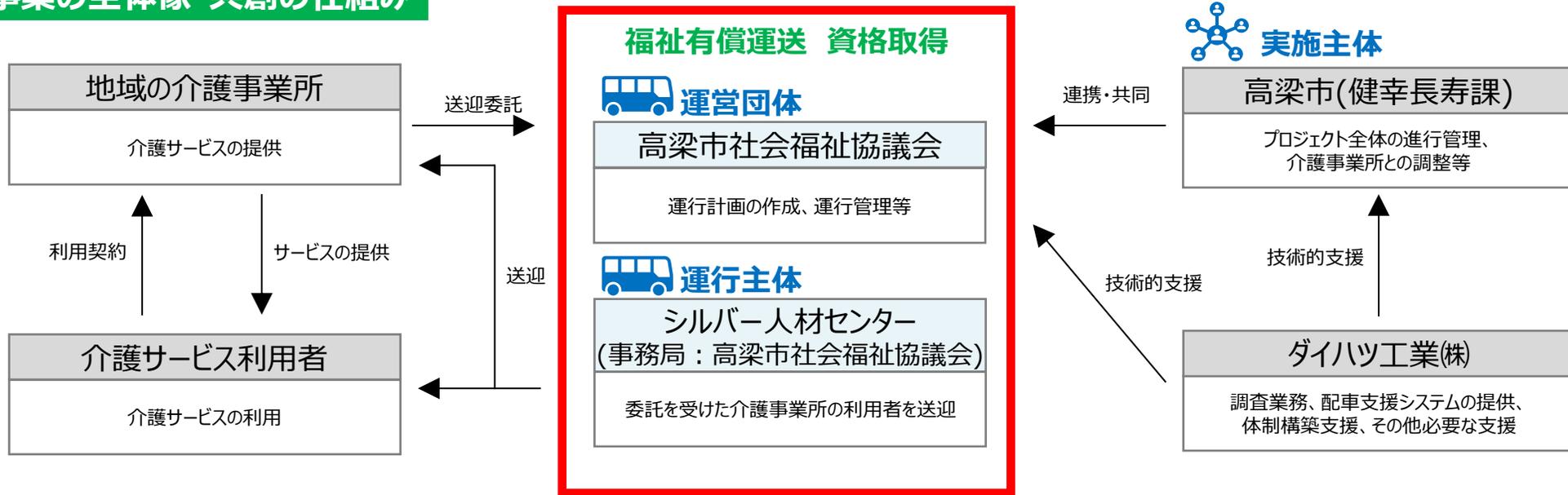
運輸局・運輸支局への事前相談

地域公共交通会議において、岡山  
運輸支局に概要のみ説明

令和5年度共創モデル実証プロ  
ジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

○市内介護事業所がそれぞれ行っている利用者の送迎業務を、運営・運行団体となる高梁市社会福祉協議会(シルバー人材センター)に委託し、利用者を同一ルート上で送迎することで送迎業務の効率化を図るとともに、介護事業所の送迎業務に係るコスト削減及び介護従事者の負担軽減を図る。

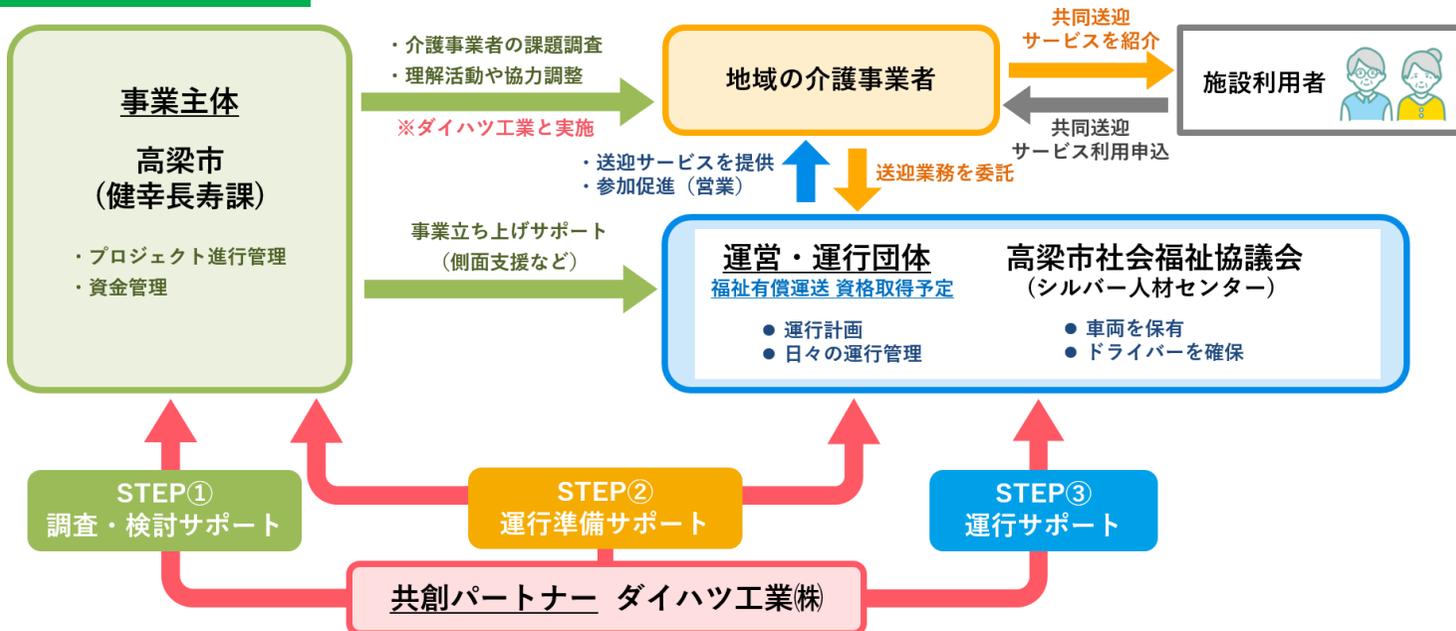
(地域の関係者との連携・協働)

○本事業では、他の地域で共同送迎事業の実績を有するダイハツ工業(株)の技術的支援を受け、地域福祉の中核である高梁市社会福祉協議会を運営団体とし、同協議会が運営するシルバー人材センターが運行団体を担い、行政と連携・共同して、介護事業所の共同送迎を行う。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

○本事業は、地域の介護事業所の送迎業務の効率化を目的としていることから、運営・運行団体を、現在、市からの委託事業として福祉有償運送を行う社会福祉協議会(シルバー人材センター)が担うことや、今後、地域の交通事業者への運行団体委託や高齢者の外出支援等の検討への足掛かりとなることから、地域の交通事業者にも理解を得られている。

事業実施手順・スケジュール



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高梁市	体制整備		調査		補助金申請		運行準備		効果検証		実績報告	
高梁市社会福祉協議会 (シルバー人材センター)					有償運送登録申請・運行準備		実証運行		効果検証		本運行準備	
ダイハツ工業(株)			調査		運行準備		効果検証				本運行準備	
地域の介護事業所					参加事業所決定		運行準備		送迎委託		本運行準備	

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

- 運転に不慣れな介護従事者の負担軽減及び送迎時の安全性向上
- 送迎業務が不要となることから、事業所における車両管理・燃料費等のコスト削減

(地域全体に及ぶと想定される効果)

- 送迎業務に係る時間の削減による介護の質の向上
- 定量的な朝夕の送迎業務による新たな雇用の創出 (シルバー人材の活用)

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ(複数選択可)、当該内容について上記に具体的に記載してください。

<input type="checkbox"/> 新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	<input type="radio"/> 貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
<input type="checkbox"/> 乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	<input type="checkbox"/> 通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

○本運行移行後は、新たな参加事業所を募集し運営の安定化を目指しつつ、共同送迎の空き時間(朝夕の送迎時間外)における高齢者の通院支援・買い物支援等の地域課題への本事業成果の活用について、地域公共交通会議等の場において、地域の交通事業者や介護タクシー事業者等とともに検討したい。

<b>資金面</b>	資金面については、持続可能な事業を目指す観点から、原則、委託料収入により運営できる方法を検討するが、行政としても今後の地域における介護事業所の継続性を確保するため、必要に応じて対応を行う。
<b>人材面(運転手の確保)</b>	人材面については、既に市の委託事業として福祉有償運送を行っている社会福祉協議会(シルバー人材センター)の人材を最大限に活用し、今後、継続的に発生する定量的な朝夕の送迎業務により収入の確保を必要とするシルバー人材の新たな雇用の創出し、登録者を確保する。行政としても広報等で協力を行う。